



レッドバインやブラックチェリーなど数種の木を使い分け、変化をつけました。築6年が経ち、色艶は深みを増しています

出会い Talking

最初はやはり大手メーカーの展示場を回っていたのですが、決め手がなくて。知り合いに相談してみたら、小川さんを紹介されたんです。建築家に依頼したいという意識は特別にはなかったのですが、自然な流れで縁があり、結果として私たちの思う家づくりに一番合うパートナーだったと思っています。



刻まれた思い出はそのままに これからのライフスタイルに沿う家を

夫婦ふたりで過ごすこれからの長い時間を、自分たちらしく楽しく快適に暮らしたい。そんな思いで建て替えを決めたHさん。ともにカメラを趣味としているご夫婦がイメージしたのは、品のよいギャラリーのような空間でした。モダンなストリップ階段の側壁など要所に作品が掛けられ、土佐和紙の壁面がその美しさを引き立てています。

また、家族の思い出が刻まれた手持ちの家具をそのまま活かしたいという強い希望もありました。上質な木の調度品は無垢床の風合いとよくなじみ、あらかじめサイズや配置を考えて設計されているため、ずっと昔からそこにあったかのようにすんなりと納まっています。さらに、キッチンやカップボードなどは、奥さまの使いやすいようにオーダーで造作。打ち合わせを重ね、用途に合わせて棚の高さや位置を決めていった家具は、使うほどに愛着を増していくことでしょう。

お子さまたちも独立し、ふたりだけの生活に必要な空間はごくシンプル。大きな片流れの建物に、光をいっぱいに取り込んだ広く明るいLDKと、吹き抜けを通じて階下とつながる小さな2階を配したプランは、なにかかもHさんたちの望んだとおりです。ベーシックだけれどもすべてがオリジナルで、そしてやはり「なにかが違う」と思わせる洗練のデザインは、暮らしの質をぐっと高めてくれるよう。「この家ができて、もう言うことなし。本当に長く住み続けたいから、元気でいられます」。



(左上)建築家ならではの美しい外観フォルム
(右上)ユニバーサルデザインを特に考慮。段差のない玄関は、車椅子でも外からスムーズに入れます (左下)ご主人がネットで探してきた、理科の実験室用のシンク (右下)リビングを見下ろしながら趣味のひとつを

ヴァンクス一級建築士事務所

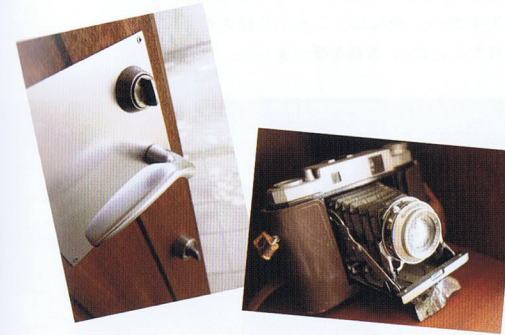
【住所】岡山市中区江並 428-6
【問い合わせ】086-276-9320

【URL】<http://www.vanx.jp/>



一括資料請求はこちら

ふたりらしく暮らす 陽だまりのギャラリー



ヴァンクス一級建築士事務所

VANX architect
住宅設計

